

明治大学校友会
多摩支部会報
平成27年 秋・冬号

東京都多摩支部
支部長 西山 強
広報委 飯田光宏
042-723-4284

対抗戦 早稲田破り優勝



サンケイスポーツ転載

多摩支部大応援団



サンケイスポーツ転載

宿敵・早稲田から3年ぶりの勝利を挙げた。前半10分にPG（ペナルティーゴール）で先制し優位に試合を展開。右ウイング成田秀平（営3＝秋田工）が藤田（早稲田）のタックルを外し、トライを奪うなど見せ場もつくった。モールディフェンスに苦しんだが、後半にもPGで効果的に加点し32－24で勝利。この結果、帝京大に勝ち数で並び3年ぶりの対抗戦同時優勝も果たした。

ノーサイドの瞬間、選手たちは両手を天に突き上げた。終了間際は自陣でのプレーを強いられた。それでも「しっかりみんなの顔を見て、ここで守るぞという意思統一ができていた」と左プロップ植木悠治（政経4＝常翔学園）。10分以上ゴールを背負い続けたがインゴールは死守した。最後は早稲田のパスが乱れたところを途中出場の左センター川田修司（情コミ4＝桐蔭学園）がカバー。スタンドオブ堀米航平（商2＝流経大柏）に渡ったボールは前にこぼれたが、そこでノーサイドとなった。「ラストはずっと攻められていたけどそこで我慢して守り切ってトライを取られずに終われたというのはすごくデカイと思うし次につながる」とナンバーエイト松橋周平（政経4＝市立船橋）。うれしい3年ぶりの明早戦勝利となった。

（明大スポーツ 柴田遼太郎 記者）



16 石川 敬人 2 貝塚 一平 3 千原 太一 4 加藤 大広 5 桑野 真樹 6 宮野 隆行 7 仲元 宏司 8 佐藤 可也 9 杉本 晃介 10 横山 亮平 22 拾木 一志 12 岡田 志 13 盛田 宗 14 本田 時 15 藤田 慶和	 43:39	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">早稲田大学</th> <th colspan="2">明治大学</th> </tr> <tr> <td>2nd</td> <td>1st</td> <td>1st</td> <td>2nd</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2</td> <td>T</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>G</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>PG</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>DG</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>12</td> <td>SCORE</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>TOTAL</td> <td></td> <td>32</td> </tr> </table>	早稲田大学		明治大学		2nd	1st	1st	2nd	2	2	T	3	1	1	G	2	0	0	PG	1	0	0	DG	0	12	12	SCORE	22	24	TOTAL		32	<table border="1"> <tr> <td>1 植木 悠治 2 中村 駿太 17 祝原 涼介 4 栗 健一 19 古川 大達 6 田中 達也 7 井上 航平 9 浜野 希 10 堀米 剛 23 齋藤 修司 22 川田 真平 13 尾又 秀 14 成田 平 15 田村 亮</td> </tr> </table>	1 植木 悠治 2 中村 駿太 17 祝原 涼介 4 栗 健一 19 古川 大達 6 田中 達也 7 井上 航平 9 浜野 希 10 堀米 剛 23 齋藤 修司 22 川田 真平 13 尾又 秀 14 成田 平 15 田村 亮
早稲田大学		明治大学																																		
2nd	1st	1st	2nd																																	
2	2	T	3																																	
1	1	G	2																																	
0	0	PG	1																																	
0	0	DG	0																																	
12	12	SCORE	22																																	
24	TOTAL		32																																	
1 植木 悠治 2 中村 駿太 17 祝原 涼介 4 栗 健一 19 古川 大達 6 田中 達也 7 井上 航平 9 浜野 希 10 堀米 剛 23 齋藤 修司 22 川田 真平 13 尾又 秀 14 成田 平 15 田村 亮																																				

試合後のコメント

フッカー中村駿太主将（商4＝桐蔭学園）

「（対抗戦優勝は）うれしい。というか早稲田に勝てたことがうれしい。それが結果優勝になった。（選手も飛び跳ねて喜んでいました）いいんじゃないですか。今日は余韻に浸って、明日から来週に向けていい準備をやっていきたい。ペナルティーはコミュニケーションを取って練習から、私生活からももう少し厳しくやっていきたい。（モールディフェンス）そこは流経も強いでしょうし、どこのチームも今日の試合を見てモールしてくると思うので、もう一度ビデオを見て、どこが悪いのか、誰が悪いのか、しっかり修正します。それ以前にそこまで持っていられるペナルティーの部分が一番良くない。そこから」



関東大学ラグビー対抗明早戦 観戦報告

2015年12月6日(日) 天候:曇り
報告 企画事業委員会 江面 利和

早稲田戦に32-24(前半22-12、後半10-12)で勝利し、3季ぶりの対抗戦優勝となりました。スタンドは満員で7割が明治の応援のようでした。下馬評では圧勝の噂もありましたが、やはり伝統の明早戦、そう簡単な相手ではありません。後半は早稲田に押されっぱなしでしたが、何とかトライを防ぎ切り、勝利できました。しかし、このままだと帝京大との一戦が心配です。大学選手権までには立て直して、前回の帝京戦のような戦いぶりを是非見せてもらいたいと思います。秋の野球では悔しい思いをしましたが、今日はおいしい祝い酒でした。

参加地域支部14地域支部、総勢91名(多摩支部として参加)

立川2(1)、小平1(1)、町田8(4)、小金井3(3)、村山1(1)、国立11(2)

青梅2(2)、国分寺8(7)、日野6(3)、あきる野6(6)、東久留米4(3)、福生23(13)

稲城3(3)、多摩市13 ※()内は祝勝会参加者数





大学HPより

出雲
8位



全日本
6位



大学HPより

そして箱根優勝？

未来サポーター募金にご協力を！

奨学サポート	4155件	2億6,080万円
国際化サポート	936件	6,223万円
研究サポート	1331件	7,370万円
スポーツサポート	3514件	2億2,228万円
キャンパス整備	2840件	6億8,529万円

紫紺ネットに登録を！

既登録者数 6,469人 (11月30日)
 大学や校友会から各種情報配信
 登録は
 大学HP→卒業生→校友会HP→新規登録

明大広報 11月号「駿風」より

21世紀に入り、政府（文科省）の大学に対する政策が変化した。学長のリーダーシップが強化され、時代の変化に迅速に対応できる体制が求められるようになった。さらに、文科省は、競争的な補助金等を使い、国際化や教育・研究を強化する方向に大学を誘導している。

具体的には、GP、GCOE、G30、スーパーグローバル大学創成支援等であり、本学も多くの補助金を獲得し、国際化を推進する大学としての評価を得るに至っている。ただし、ここで立ち止まって、もう一度よく考えてみる必要があるのではないか。

というのも、最近では、国際化の推進に加え、地方創生、経済成長に役立つ人材の輩出など国策とリンクした政策誘導が目立っている。もちろん、大学も社会的な責任を果たす必要があり、国益に沿うことは重要である。しかし、本学は私学であり、国立大学法人とは違う。

国と大学の方向性を共有し、文科省の政策とも寄り添いながらも、政策を無批判に受け入れるのではなく、現場に携わる者として、中身をよく吟味し、本学独自にそれを消化していくことが重要であると思われる。それが、学生のため、ひいては社会のためにもなるのではないだろうか。

編集後書 12月第1週日曜日、90余年の歴史ある大学ラグビー対抗戦は、母校明治がこのところ2勝13負している早稲田を踏破し、帝京大学と共に同率首位一優勝となった。応援に駆けつけた多摩支部大応援団の諸兄も溜飲が下がり、久々の美酒に酔いしれたことかと思えます。

「日本だけでなく世界からも、良い教育・研究を行っている大学として高い評価を受けるよう、全学を挙げて挑戦する」という滋賀大会における日高憲三理事長の祝辞にあるように、今、母校は生き残りをかけて頑張っています。我々校友は校友会の存在意義、母校賛助・親睦交流・社会貢献に己の出来ることから努めましょう。スポーツ応援・未来サポーター募金への協力・地域支部活動参加等々・・・次は箱根駅伝だ！（写真提供 日野地域支部 江面利和氏）